

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス大網白里教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月5日		2026年3月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2026年2月5日		2026年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的支援実施を行うことにより、より個別支援が充実できるように取り組んでいる。	個別支援計画書に基づき、専門的支援計画を作成。本人の困りごとや、保護者のニーズに合わせたアセスメントを行う。学習室スペースにて個々にSSTや巧緻性を意識した活動を行っている。	子ども達の得意なこと、好きな遊びから活動の幅を広げステップアップできるようにツールを増やしていく。
2	活動プログラム以外の自由活動で、本人のやりたいことを行い楽しめるように工夫している。	工作やねんどで集中する子には、折り紙や箱を用意し、友達同士で鬼ごっこをする子には危なくない環境で行えるように、学習室を設け環境を整えている。 外出や調理などのイベントをおこない楽しみながら経験できるように工夫している。	本人の好きな遊びを見つけ、「楽しい」「嬉しい」など明るい空間を作れるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	高学年、中高生のプログラム	低学年の利用者が多く、同年代で遊べる環境が少ない。 運動プログラムも児童や低学年向けの内容になっている。	就労の準備も意識しながら活動プログラムを考える必要がある。
2	保護者同士の交流が課題。	保護者交流会などの企画や運営に時間をとることが難しい。 参加しやすい時間の提供など考える必要がある。	地域の方のご協力をいただきながら、保護者交流会の企画運営を強化する。
3			